

海ごみ拾いボランティア In 玉野 活動報告書

令和5年7月27日

岡山大学 Global Discovery Program 石堂魁一

[開催概要]

イベント名称：海ごみ拾いボランティア In 玉野

開催日：7月23日（日） 13:00~19:30

開催場所：渋川海岸（〒706-0028 岡山県渋川）、コミュニティーハウス、浜茶屋

参加メンバー：岡山大学 学生 25名（留学生 13名）

玉野市在住の学生（Tamano Beads） 9名

社会人サポーター3名 計 37名

御協賛：岡山神社 久山信太郎さん

[開催経緯,目的]

大学で世界の環境について学んでいく中で環境問題に関心を持ち、自分たちに何かできることはないかと考え、ボランティア活動を企画し岡山大学の留学生を中心とした学生を集めた。

ただゴミ拾いをするだけでなく、ディスカッションなどを通し世界の環境問題や街おこしについて留学生と共に考えることで、多角的な視点から問題に向き合い、新しい知見や考え方を養っていく。

また、玉野の学生団体の方々にも一緒に活動していただくことで国際交流の輪を広げ、地域活性化に少しでも貢献することを目的とする。

[当日の流れ]

13:00 全員集合

13:30 顔合わせ、全体自己紹介、グループ分け

14:00 ゴミ拾い開始

15:00 ごみの量結果発表

15:30 Group discussion（環境問題 30分、地域活性化 15分）

16:15 ミニゲーム（くるくるバットビーチフラッグ）

16:30 自由時間

17:00 夕食（浜茶屋）

18:00 スイカ割り、花火

19:30 解散

[参考資料]



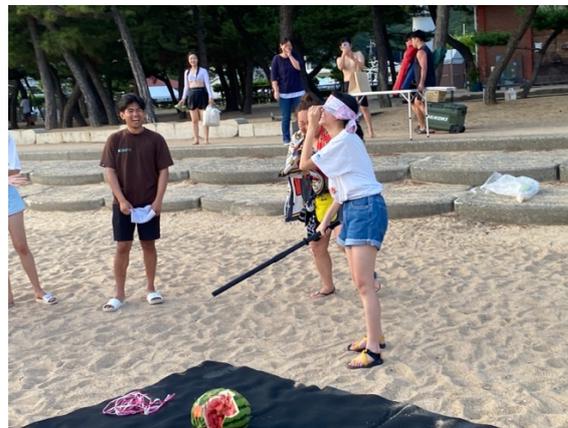
海ゴミ拾いボランティア



Discussion



浜茶屋



スイカ割り

[参加者の感想]

何気ない会話と思いつきで始まったこの企画。たくさんの方と共に大盛況で、明るく楽しく活動ができました。今回の参加者の方々のように立派な考え方をもち、より良い街づくりのために活動をおこしたいという学生の思いを拾い上げ、色んな方々を巻き込んだ活動を今後とも展開していけたらと思います。(実行委員長 石堂魁一)

The volunteering event at Tamano beach was not only full of fun but extremely eye-opening! I was able to broaden my knowledge on the environmental issues that different countries face and experience it first-hand through the beach clean-up. It was an enlightening feeling to work together in making the world a better and more comfortable place to live in! (岡山大学 GDP Karin)

As an environmentalist, I've always been anticipating for environmental volunteering activities in Japan, and I was finally able to participate in one! I would say that Japanese take relatively good care of their beaches as compared to other countries, especially the US and other Southeast Asian countries, but even so, microplastics still remain a huge problem. While lot of efforts still needs to be done for us to create a livable world in the future, the volunteering experience at Tamano beach was definitely one of them! (岡山大学 GDP Chock)

渋川ゴミ拾いボランティア&国際交流イベントではとても有意義な時間を過ごせました。はじめに海洋のゴミ拾いボランティアを行い、それによって環境問題の改善に貢献できたと感じています。また、その後の環境問題についてのディスカッションでは、様々な国籍、年齢の人々と話し合うことで、様々な視点から環境問題について考えることができ、色々な考えを得ることができました。今後もこのようなイベントを通し色々な価値観、背景を持った人と話してみたいと思います。(Tamano Beads 岡山理科大学附属高等学校 普通科国際バカロレアコース 中山翔斗)

若い世代の学生たちが、国や言葉の壁を超えて「環境問題」という1つのテーマに向かって真剣に、楽しみながら話し合い、交流を深めることができた有意義なイベントになったと感じます。学生達を見ているととても未来は明るく感じられます。多世代で繋がって問題解決に向けて進んでいきたいですね。(大人サポーター 坂本まみ)

[Discussion 内容]

○環境問題について

- ・温室効果ガス削減に向けて（エアコンと扇風機を兼用して使う、エレベーターやエスカレーターを避け階段を利用する、デリバリーを減らす、電車を利用する）
- ・プラスチック削減に向けて（土に戻せるプラスチックを使用する、エコバックを持つ、リサイクルする）
- ・国同士でお互いに良いところを認め合い見習っていく
- ・発展途上国のゴミ問題について →ゴミ拾いの団体や活動があってもそれをはるかに超えるポイ捨ての量。活動しても何も変わらないどころか悪化していく現実。国の政治方針だけの問題なのか？途上国では教育の中で環境問題について学ぶ機会がない。シンガポールのようにポイ捨てをしたら罰金のような制度を使ったら国はどのように変わっていくのか。
- ・今までにそれぞれが向き合ってきた環境問題の共有
- ・マイクロプラスチックについて 2週間でクレジットカード1枚分を人間は摂取 プラスチックは人間にとって害があるのか？
- ・ボランティア活動にどんどん参加していくことで環境問題に関心を持った人を増やしていきたい。

○地域活性化について

- ・自分達のコミュニティーだけでなく SNS 等でどんどん活動の発信を行なって、いろんな人々を巻き込んで活動を行っていく。
- ・若者が自ら考え、行動に移していくことが地域活性化において大切。
- ・観光客を増やしていくために→新しく作るだけでなく、地域の既存の良いところに目を向けどんどん発信、宣伝していく。

[最後に]

今回のイベント開催にあたりたくさんの方々に、御協賛や当日の裏方の手伝い等でご協力を賜りました。そういった方々のご協力が私たち学生にとっても大きな力になります。感謝の気持ちを忘れず、これからも皆様のご期待に応えられるよう精一杯頑張ります。今後ともご協力よろしくお願ひします。改めて、ありがとうございました。